

2022(令和4)年度 亀山南小学校 具体的行動計画 学校自己評価表 I

重点目標	【1】個を大切にしたい授業を展開し、基礎基本の定着と学力の向上を図る。	学校自己評価: B	〔評価〕A:達成 B:概ね達成 C:不十分
行動計画及び目標値	達成状況・評価結果	成果や課題、今後の方針 等	評価
<p><行動計画> ① 一人ひとりが意欲的に取り組める授業づくりを行う。</p> <p><目標値> ・一人1回以上の研究授業やOJT講師 ・朝学習、補充学習の充実 ・児童・保護者の授業理解に対する評価90%以上 ・教職員による児童の授業理解に対する評価90%以上 ・学力向上の取組についてのアンケート(亀山市)90%以上</p>	<p><目標値に対する達成状況> ・一人1回以上の研究授業やOJT講師 全学年担任及び専科が実施 ・補充学習の実施 委員会のない金曜日に開催 ・児童・保護者の授業理解に対する評価 児童:92%、保護者:84% ・教職員による児童の授業理解に対する評価 87% ・学力向上の取組についてのアンケート(亀山市) ふり返り活動、文章・図表・グラフからの読み取りや書かす活動において目標値に至らず。</p> <p>10月に中学校区研究発表会を開催し、道徳科の公開授業を全学年で行った。また、それに向けて三重県道徳アドバイザーの指導の下、計画的に教材研究や指導案検討を行ったことは有意義であった。</p>	<p>コロナ対応として、積極的にオンライン同時配信授業に取り組んだ。急にオンライン配信が必要になった際も、すぐに家庭訪問やポストインにより対応して学びを保障できたことはよかった。今後もさらに柔軟に対応できるよう努力したい。また、校内研修は、中学校区の研究発表会開催と合わせ、研究主題である『考えや思いを主体的に表現する子の育成～「やってみよう」伝えたい・深めたい・深めたい』を目指した授業づくり～の達成に向けて努力できた。子どもの変容として、道徳科への授業意欲の向上が見られ、思考する場(自分で、ペアで、全体で)を作ったことで、より活発な話し合いができるようになってきています。さらに、日常的に教職員間で学び合いが生まれるよう、校内人事による体制の整備、職員室の座席の工夫などに努めていきたい。</p>	B
<p><行動計画> ② 表現力の向上につながる授業づくりに取り組む。 【○三谷、土屋、田中、和田】</p> <p><目標値> ・授業のなかで必ず発表・発信の場を設定 ・児童・保護者の伝え合う力の向上評価80%以上 ・図工作品の積極的な出品、校内展示 ・体育的活動、音楽的活動による表現活動</p>	<p><目標値に対する達成状況> ・児童・保護者の伝え合う力の向上評価 児童:63%、保護者:88% ・教師による児童の伝え合う力の向上評価 87% ・図工作品の積極的な出品、校内展示 ・小中音楽会への参加 ・地域ふれあい集会で、亀山中学校吹奏楽部の招待演奏の鑑賞ができた。</p> <p>伝え合う活動に対する評価は昨年度同様低目の傾向を示した。コロナ禍の影響により、話し合い型の活動制限の影響もあると思われるが、学習規律の確保と合わせ、改善が必要である。</p>	<p>ペアやグループを取り入れた伝え合い活動のさらなる充実を図る。また、1人1台端末の共同編集機能などの活用による伝え合う力の向上も期待したい。 安心して学べる環境づくりとして、「子どもの名前を呼ぶ」「教室の中にありがとうを増やす」を共通テーマとして引き続き取り組んでいる。 合唱・合奏の活動制限は今年度も続いたが、指導方法の工夫や運動場でのリコーダー練習など工夫して行った。今年度は、亀山市小中音楽会への参加ができ、合唱を披露できた。また、地域ふれあい集会でも発表できた。体育では運動会の表現運動を中心に取り組んだ。図工美術の作品制作は中心的な教職員の指導が学校全体に影響し、豊かに表現された作品が校内にあふれており、次年度も継続していきたい。</p>	B
<p><行動計画> ③ 書く力と読解力の向上に取り組む。</p> <p><目標値> ・ふり返り・まとめの充実 ・年間読書量一人100冊 ・学校評価アンケート「本をよく読む」80%以上</p>	<p><目標値に対する達成状況> ・年間読書量 一人平均 82.02冊:1月19日現在(前年84.06冊) ・学校評価アンケート「本を読むのが好き」 児童:82%、保護者:52%、教職員:80% ・おはなし隊による計画的な読み聞かせの実施(地域ふれあい集会含む) ・学調、みえスタ 国語科「指定の文字数で答える」問題 全国平均より+0.9%(6年) 県平均より-0.3%(4年)+14.4%(5年)</p> <p>図書担当のリーダーシップにより、朝休みにまず図書の本を借りに行く習慣化が図れた。</p>	<p>授業時のふり返りも含め、書く活動の日常化に努めた。体験から感じ取ったことを表現するよう指導した。(日記など)また書き方の指導として、ワークシートや1人1台端末の活用なども大切である。 読み聞かせの継続や図書館指導員による指導などの成果は感じられるが、読書量の少ない児童への働きかけも引き続き必要である。さらに読解力をつけるために、語彙力を増やしたり、要約力を鍛えたりする取り組みを行っていきたい。</p>	B
<p><行動計画> ④ 学力向上に向けた「学習規律・授業改善・学習習慣の確立」に努める。 【○三谷、廣森、佐野、服部】</p> <p><目標値> ・家庭学習の手引き配布 ・自主学習ノートの充実 ・学校評価アンケート「毎日家で勉強している」80%以上 ・南小版シートを活用したチャレンジ週間の実施年間3回</p>	<p><目標値に対する達成状況> ・家庭学習の手引き 6月配布 ・自主学習ノートの紹介活動「キラキラノートの森」掲示 ・学校評価アンケート「毎日家で勉強している」 児童:89%、保護者:85%、教職員:80% ・南小版シートを活用したチャレンジ週間 年間3回 ・1人1台端末の持ち帰りによる家庭学習の推進</p> <p>自主学習ノートの紹介活動やチャレンジ週間の取り組みを継続して実施できた。</p>	<p>個々に差はあるものの、ほぼ全児童が毎日家庭学習の取り組みを重ねている。音読・漢字・計算などの宿題と授業の予習復習や調べ学習などの自主学習を続けている。次年度も続けていきたい。また「チャレンジ週間」「かめやまお茶の間10選」「キラキラノートの森」などの成果のあった取り組みも継続していく。 なお、1人1台端末の持ち帰りによる家庭学習の啓発も行っており、次年度に向けてより効果的な方法をさらに検討していく必要がある。</p>	B

2022(令和4)年度 亀山南小学校 具体的行動計画 学校自己評価表Ⅱ

重点目標	【2】体験活動を効果的に取り入れ、子ども一人ひとりの「生きる力」の育成に努める。 学校自己評価: B		[評価]A:達成 B:概ね達成 C:不十分
行動計画及び目標値	達成状況	今後の課題・方針	評価
<p><行動計画> ① 地域と連携した豊かな体験活動を推進する。</p> <p><目標値> ・学校花壇づくり・里山学習・人権集会 ・地域ふれあい集会 ・宿泊体験学習・保育園交流・防災学習 ・四小交流・学習発表会(6送会) ・アンケート肯定的評価90%</p>	<p><目標値に対する達成状況> 実施した体験活動 ・全校遠足・社会見学(3年11月・2月、5年10月、4年2月) ・地域ふれあい集会(11月) ・学校花壇づくり・全校植え替え集会、クリーン集会・里山学習・人権集会 ・保育園交流・学習発表会(6送会)・県内修学旅行 ・5・6年宿泊研修(6月) ・「人とかかわり、生きる力をつける」アンケート肯定的評価 児童:81%、保護者:93%、教職員:80%</p> <p>地域の花ボランティアの方々にご尽力いただき、学校花壇づくりに努め、FBC花壇コンクールで「内閣総理大臣賞」を受賞した。</p>	<p>昨年度より、感染対策を取ったうえで、内容を工夫して行事等を実施できた。引き続き内容の工夫、改善を図っていききたい。 令和5年度もコロナ禍における学校運営を今年度の経験を生かして計画していく必要がある。延期も想定した日程編成を考えていきたい。 地域とともに、地域のために、地域で生きていく子どもたちのために、できることは何か考えていきたい。</p>	B
<p><行動計画> ② 「生きる力」の育成につながる生活科・総合的な学習の時間の授業づくりに取り組む。 【○廣森、佐野、松本】</p> <p><目標値> ・カリキュラムの見直し ・「生きる力」肯定的意見85%以上</p>	<p><目標値に対する達成状況> ・「生きる力」肯定的意見 児童:81%、保護者:93%、教職員:80% ・カリキュラム検討 年度末で実施</p> <p>今年度は状況を見ながら、感染症予防対策を行うことで、2年地区探検など実施した活動が増えた。地域の方とのふれあいの中で、あたたかいご厚意をいただいたり、お礼のお手紙を届けたりして、双方向のつながりができた。 また、新図書館のプレ見学に、1・2・6年生が参加できた。</p>	<p>昨年度より、感染対策を取ったうえで、内容を工夫して活動を実施できた。引き続き内容の工夫、改善を図っていききたい。学校外の方から生き方、地域の歴史、文化、人、物に触れることの意義は計り知れないため、できうることに最大限取り組んでいきたい。またそのために学校運営協議会を中心とした組織との連携をより深めていく。</p>	B
<p><行動計画> ③ ゲストティーチャーを招いて共に活動する場を設定する。</p> <p><目標値> ・里山学習、学校花壇づくり、地域ふれあい集会など合計で年間10回以上</p>	<p><目標値に対する達成状況> ・ゲストティーチャー招聘 地域ふれあい集会ふれあい活動(放課後子ども教室Co)、平和・歴史学習等(歴史博物館)、薬物乱用防止教室(薬剤師)、学校花壇づくり(花ボランティア)、租税教室(鈴鹿税務署)、里山学習(ささゆりの会)、陸上教室(陸上競技協会)等 ・FBC花壇コンクール 内閣総理大臣賞 体験学習、ゲストティーチャーとの学びを通して、人とかかわり、生きる力をつける活動を行ってきた。昨年度より、感染防止に努めながら、多くの活動を実施できた。学校花壇づくりでは、地域ボランティアの方に大変ご尽力していただき、花づくりを通して豊かな心を育むことができた。</p>	<p>コロナ禍にあっても何人かのゲストティーチャーが今年も協力していただいた。地域ふれあい集会では、放課後子ども教室コーディネーターに尽力していただき、様々な体験活動が実施できた。次年度も可能な限りその機会を設定していきたい。同じ内容を伝えても教師が伝えるのと「本物」「当事者」「実物」から伝わるものは比較にならない。そうした場面を子どもの学びの場により多く準備していきたい。 リモートや動画など機器の活用により教育効果をさらに高められるよう研鑽を深めていく。</p>	A

2022(令和4)年度 亀山南小学校 具体的行動計画 学校自己評価表Ⅲ

重点目標	【3】お互いの人権を尊重し、心豊かによりよく生きる生活態度や実践力を養う。	学校自己評価: B	
			〔評価〕A:達成 B:概ね達成 C:不十分
行動計画及び目標値	達成状況	成果や課題・今後の方針等	評価
<p><行動計画> ① ちがいを認め合った仲間づくりを行うとともに、一人ひとりの子どもへ有効な支援を行う。</p> <p><目標値> ・Q-U実施と分析年2回 ・個別の支援計画の作成 ・人権アンケート実施・分析、レポート交流年2回 ・教育相談を年2回以上開催 ・いじめ発生件数0件 ・不登校児童数0人</p>	<p><目標値に対する達成状況> ・Q-U実施と分析 年2回(7月、2月) ・個別の支援計画の作成(作成児童6名) ・いじめアンケート(毎学期実施)・なかまづくりアンケート(5月実施) ・人権アンケート、レポート交流年2回 ・教育相談(6月、11月実施) ・いじめ発生件数1件 ・不登校児童数0人</p> <p>学校全体での情報共有と取り組みを行い、いじめ事案1件は、指導するとともに、継続して見守っている。</p>	<p>「すべての子どもをすべての教職員で」を目指す方針の下、各種のアンケート実施後は、すぐにその記述内容を確認し、迅速な対応を心掛けた。しかし、事案発生時の状況把握・事実確認が後に回るケースも見られたので、より一層の報告・連絡・相談の徹底と組織的対応の充実を図る必要がある。子どものアピールやSOSに対して迅速に対応できるよう、今後も継続していく。 学校いじめ防止基本方針のもと、情報を共有して児童支援に当たることができた。 欠席児童の少なさは長年続く南小の特徴の一つであり、今後も継続できるよう家庭、地域との連携に努めていく。</p>	B
<p><行動計画> ② 保護者・地域への啓発に努める。</p> <p><目標値> ・人権・道徳教育に関する授業参観の開催年1回以上 ・人権啓発を目的とした学校だよりの発行年1回以上</p>	<p><目標値に対する達成状況> ・昨年度は、開催できなかった授業参観は、感染防止に努めながら、各学期に実施できた。地域ふれあい集會も、午前の部を参観していただいた。 ・人権啓発を目的とした学校だより発行 年2回</p> <p>地域との会議等を催すことが困難であったので、学校だよりやHP等で人権啓発を目指した内容の発信も意識して取り組んだ。</p>	<p>人権学習、人権標語作品、いじめ防止月間などを中心に学校だよりやホームページで学校の人権学習や仲間づくり、いじめ防止の取り組みを紹介することに努めた。さらに内容の充実を図っていききたい。次年度も工夫しながら、学校を開き、情報発信に努めていきたい。</p>	B
<p><行動計画> ③ 子どもの関わる力と主体的に取り組む力の育成を図る。</p> <p><目標値> ・学校評価アンケート「友だちを大切に思い仲良くしている」90%以上 ・なかよし集會、なかよし班遊び又は全校行事 月1回</p>	<p><目標値に対する達成状況> ・学校評価アンケート「友だちを大切に思い仲良くしている」児童:97%、保護者:95%、教職員:80% ・なかよし集會及びなかよし班遊び 年3回 ・児童会でのイベント2回(ドッジボール大会、大縄大会) ・昨年度までは控えていた密集しやすい活動(大縄跳び)なども含め、なかよし班活動を多く実施することができ、子どもたち同士の関わりを増やすことができた。 しかし、感染状況を見て、感染防止のため、異学年交流など活動を控えることもあった。</p>	<p>昨年度に比べ、活動内容の制限が減り、活動しやすい状況であった。休み時間においても、芝生運動場において学年を超えてサッカーや遊具遊びなどを楽しむ姿が見られた。しかし、子どもも教師もコロナ禍による空白期間もあり、ノウハウが途切れている影響もあるのか、活動内容の深まりが十分ではなかったといえる。もっと子どもが主体となる活動を組み立てて、生きる力を養う取り組みにしていきたい。 次年度も工夫した活動を展開し、子どものかかわる力、主体的に取り組む力を育てていきたい。</p>	B
<p><行動計画> ④ みなみ保育園や小中学校との交流学習を推進する。</p> <p><目標値> ・保育体験、四小交流年2回、人権フォーラム ・5年生をはじめとする保育園との交流学習</p>	<p><目標値に対する達成状況> ・四小交流 参集型で実施(11/16)、オンラインで開催(2/14予定) ・亀中校区人権フォーラム(12/6)・校内人権集會(1/17) ・5年生をはじめとする保育園との交流学習 年3回 ・かがやき学級 徳風学園とのドッグセラピー 年4回</p> <p>3年ぶりに参集しての四小交流を開催できた。</p>	<p>参集してのふれあい活動を今年度は実施できた。また、規模を縮小したり、交流の方法を工夫したりすることで開催できる活動が増えた。 次年度も交流活動を工夫し、取組の幅を広げていけるよう検討していきたい。</p>	B

2022(令和4)年度 亀山南小学校 具体的行動計画 学校自己評価表Ⅳ

重点目標	【4】基本的生活習慣の定着を図り、健康で安全な生活の確立を図る。	学校自己評価: B	
〔評価〕A:達成 B:概ね達成 C:不十分			
行動計画及び目標値	達成状況	成果や課題・今後の方針等	評価
<p><行動計画> ① 挨拶運動の充実と啓発活動の取り組みに努める。</p> <p><目標値> ・おはようみなみ挨拶運動の充実 ・保護者アンケート肯定的意見90%以上</p>	<p><目標値に対する達成状況> ・おはようみなみ挨拶運動 6月実施 ・あいさつに対する肯定的評価 児童:82%、保護者:83%、教職員:33%、地域:87%</p> <p>あいさつへの評価は年度比較によると低下しており、教職員も大きな課題として捉え、声かけ・指導を行っている。</p>	<p>コロナ対応としてマスク着用による声の出しにくさや大きな声を控えるなどの面もあるが、コミュニケーションの第一歩として、今一度啓発していく。また、相手の目を見たり、お辞儀、会釈をしたりといった態度やマナーを指導していくことの重要性も感じた。教職員や大人がまず率先垂範していくことも必要である考える。</p>	B
<p><行動計画> ② 健康安全の取組の充実に努める。 ・健康観察 ・交通安全指導 ・子どもの体力向上 ・安全点検 ・食育</p> <p><目標値> ・登下校指導月1回、交通安全教室の開催 ・学校保健委員会の開催 ・全学年体力テストと継続指導 ・保護者アンケート肯定的意見90%以上</p>	<p><目標値に対する達成状況> ・登下校指導 月1回実施、交通安全教室(動画等により指導) ・学校保健委員会(2/9) ・全学年体力テスト実施 ・地域ふれあい集会にて、全校で防災のお話と防災グッズづくり ・防災や健康・安全への指導 保護者評価 92% ・通学路に防犯カメラの設置(←学校運営協議会)</p> <p>学校の環境衛生を整えるために、教職員が当番制で消毒にあたったが、スクールサポートスタッフ等の配置を今年度もいただいたので適切に実施することができた。 新型コロナウイルス感染症対応については、その時局に応じて、保健所・学校医、市教委と連携・協議し適切に対応してきた。学級内での複数感染が認められた場合は、学級閉鎖の措置も取り、感染拡大防止に努めた。 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、換気に配慮し、市教委作成の換気呼びかけCDを活用し、換気の徹底に配慮した。感染者が複数確認された場合は、学校医・市教委と協議の上、迅速に学級閉鎖等の感染拡大防止の措置をとった。</p>	<p>感染症対策として消毒作業等を、継続配置されたスクールサポートスタッフを中心に行った。今後も継続して効率よく進めていく。コロナ対策をしながら方法を工夫して実施していこうという体制が整いつつある。今後も従来の枠にとらわれるのではなく、内容を検討し臨機応変に実施していきたい。 一定数ではあるが、家庭での健康観察の入力や観察票の持参を忘れる児童がいるため、家庭への連絡を含め協力を繰り返し求めていく必要がある。 横断歩道の渡り方などの体験的な安全指導の学習の機会を設けることができなかった。 保護者アンケートでは、「体力」に関するポイントがわずかではあるが向上した。縄跳びなどの運動を推奨したり、運動に対する意欲を高める取り組みを行ったりすることで、さらに運動量を増やしていきたい。</p>	B
<p><行動計画> ③ 学校の環境美化・整備の充実に努める。 ・児童の環境整備活動 ・芝生運動場整備 【○三谷、土屋、羽場、諸岡】</p> <p><目標値> ・クリーン集会 ・安全点検月1回 ・芝生運動場の維持管理 ・グラウンド施肥5回、刈り込み夏季月3回～4回 ・日常の清掃指導</p>	<p><目標値に対する達成状況> ・クリーン集会 6/16実施(校地内にて) ・安全点検 月1回実施 ・芝生運動場の維持管理 施肥5回、刈り込み月3回～4回 ・校地周辺の樹木の剪定(教頭、保護者有志など) ・日常の清掃指導 ・PTA奉仕作業 有志により2回実施</p> <p>クリーン集会は、校地内において、全校児童と地域の代表の方で環境学習を実施した。昨年は中止となったPTA奉仕作業を有志の皆さんにお助けいただき実施できた。芝生の生育状況はあまりよくなく、棘のあるメリケンソウの繁殖も心配である。整備には人力と費用がかかるので、引き続き市へも要望していく。</p>	<p>クリーン集会は、児童の環境学習に大きな意味をもつと考え、地域をまわるのではなく、校地内に限定し実施した。地域の代表者の方々にも数名参加していただき、活動できたことは有意義であった。 保護者の有志の方や地域ボランティアの方々が植木の剪定や観察池の整備、草刈りなどに力を貸していただき、感謝したい。 学校の方だけで芝生運動場をはじめとする校庭の整備は非常に負担が大きいため、引き続きボランティアの方々やPTA奉仕作業、市の労務作業員の方などの力を借りながら進めていきたい。</p>	B

2022(令和4)年度 亀山南小学校 具体的行動計画 学校自己評価表V

重点目標	【5】保護者、地域とのコミュニケーションを図り、地域と一体となった学校運営・教育活動を実践する。学校自己評価： B		
	〔評価〕A:達成 B:概ね達成 C:不十分		
行動計画及び目標値	達成状況	成果や課題・今後の方針等	評価
<p><行動計画> ① コミュニティスクールとして、「地域とともにある学校づくり」を推進し、学校運営協議会での熟議を具体的な形で学校運営に反映していく</p> <p><目標値> ・学校運営協議会の開催年間4回 ・学校運営協議会委員の授業・行事参観の実施 ・地域ふれあい集会の開催 ・学校運営協議会によるビジョンの共有 ・学校関係者評価の実施と公開 ・地域関係者アンケート「学校は地域と連携して教育活動をすすめようとしている」80%以上 ・ホームページでの学級情報の発信週1回以上 ・学校だより月1回以上発行(地域回覧)</p>	<p><目標値に対する達成状況> ・学校運営協議会の開催年間5回 ・地域ふれあい集会の開催11月19日実施 ・学校運営協議会によるビジョンの共有 ・学校関係者評価の実施と公開 2月実施予定 ・地域関係者アンケート「学校は地域と連携して教育活動をすすめようとしている」100% ・ホームページでの学級情報の発信 ほぼ毎日更新 ・学校だより地域回覧 発行数22(1月末現在)</p> <p>地域ふれあい集会を学校運営協議会で議論を重ね、コロナ禍にも関わらず、工夫して実施することができた。また、子どもたちの様子の交流を毎回行い、子どもの見方・育て方についての示唆をいただく場面もあった。</p>	<p>今年度もコロナ禍の難しい学校運営を強いられる中で学校運営協議会で議論していただくことで学校の方向性を定めることができた。地域ふれあい集会の持ち方を前向きに検討し、開催することができた。また子どもたちの様子の交流では、貴重な意見をいただき、多面的な子ども理解が進んだので、今後も継続していきたい。また、委員の方にご尽力いただき、通学路の安全の観点から、通学路の2か所に新たに防犯カメラの設置をしていただいた。事業所及び地域コミュニティの方々にご尽力いただき、大変ありがたい。さらに「地域・学校の双方向的な活動の充実」を検討していきたい。</p>	B
<p><行動計画> ② 開かれた学校づくりを推進する。 ・フリー参観・家庭訪問・地区集会 ・地域ふれあい集会 ・学校保健委員会・地域行事への参加</p> <p><目標値> ・学校だより月1回以上地域回覧 ・学年通信の発行年25号以上 ・学校運営協議会だよりの地域回覧 ・ホームページの随時更新 ・保護者アンケート肯定的意見85%以上</p>	<p><目標値に対する達成状況> ・学校だより地域回覧 発行数20(1月10日現在) ・学年通信の発行 年25号以上 全学年達成見込 ・学校運営協議会だよりの地域回覧 年間2回発行 ・ホームページのほぼ毎日更新 ・授業参観(4月、11月、2月) ・保護者アンケート肯定的意見 83%</p> <p>感染予防をした上で、学校行事を従来のように実施できることが増えてきた。しかし、来場数制限のため、保護者のみ参加とする状況であり、祖父母や地域の方々にも広く来校していただくことはまだできていない。そのため学校だよりとホームページをはじめとするツールを用いた学校からの情報発信を意識してきた。</p>	<p>ホームページは、ほぼ毎日更新することができた。内容は、日常の活動や行事、子どもたちの様子はもちろんだが、教職員の仕事ぶりや研修の様子なども知ってもらえるよう多角的に発信した。個人情報保護の観点から、写真は小さくし鮮明にならないよう配慮した。また、コロナ対応で自宅待機となっている児童にオンライン同時配信授業を行った。また、PTA教育懇談会においては、児童も参加型とし、保護者はオンライン参加も取り入れ実施できた。今後も、積極的に学校の姿勢や考えも含め工夫して発信していきたい。引き続き学校公開をはじめ、地域とともにある学校づくりのため具体的な取り組みを行っていきたい。</p>	B
<p><行動計画> ③ 学校、保護者、地域がふれあい、活動する機会を設定し、連携して子どもの健全育成に努める。【○廣森、服部】</p> <p><目標値> ・地域ふれあい集会の開催 ・まちづくり協議会と連携した地域の運動会、文化祭への参加 ・老人会等との交流活動</p>	<p><目標値に対する達成状況> ・地域ふれあい集会 11月19日実施 地域GTによる体験活動、亀中吹奏楽部による招待演奏などの実施 ・まちづくり協議会との連携による地域の運動会、文化祭 中止 ・老人会等との交流活動 中止</p> <p>天神和賀、南部ともにまちづくり協議会による行事の多くが今年も中止となった。でも、「地域ふれあい集会」は昨年よりも保護者の方々の参加時間を増やして実施できたことは有意義であった。</p>	<p>今年度も交流活動の多くが中止となったが、感染対策をしっかりと講じながら地域ふれあい集会は実施することができた。次年度は、さらに地域の方にも来ていただけるよう工夫して実施していきたい。また行事等が、延期されることも想定に入れて早めの計画をするなど、前向きに取り組んでいきたい。</p>	B

2022(令和4)年度 亀山南小学校 具体的行動計画 学校自己評価表VI

重点目標	【6】働きやすい環境づくり、ワーク・ライフ・バランスの確保に努める。	学校自己評価: C	
〔評価〕A:達成 B:概ね達成 C:不十分			
行動計画及び目標値	達成状況	成果や課題・今後の方針等	評価
<p><行動計画> ①働きがいがあり、健康で明るい職場づくりに努める。【〇廣森、服部、教頭】</p> <p><目標値> ・OJTの推進に対する教職員評価80%以上 ・職場の人間関係に対する教職員評価80%以上 ・職員会議等の有効性に対する教職員評価80%以上 ・自己目標設定シートの効果的な活用 ・ストレスチェック職場の支援 全国・市内平均以上</p>	<p><目標値に対する達成状況> ・仕事のやりがいに対する教職員評価73% ・OJTの推進に対する教職員評価 73% ・職場の人間関係に対する教職員評価 80% ・職員会議等の有効性に対する教職員評価 87% ・自己目標設定シートの効果的な活用 ・ストレスチェック(健康リスク経年変化)すべての項目で昨年よりリスクが悪化</p> <p>中学校区研究発表会に向けて、計画的に研修会を重ね、アドバイザーや指導主事の方々から積極的に指導を受けられる体制づくりに努めた。日頃の会話から問題点を洗い出し、アドバイスをを行い、チームの和を大切にしたい職場づくりを目指したが、目先の問題に対処することに追われることが多く課題が残った。</p>	<p>昨年度末の人事異動で半数近くの教職員が入れ替わったこともあり、戸惑いの多いスタートとなってしまった。コミュニケーションを意識して職場づくりに努めてきたが、どの項目でも低下傾向であった。必要に応じて、産業医のカウンセリングも呼びかけるなど心身の健康管理に留意したい。</p> <p>教職員が、各分掌からの提案前に相談し合える場を設定するなど、安心して働ける環境になるよう、改善を図る必要がある。また、お互いの悩みや心配事を話し合う事のできる、職員室の雰囲気づくりに努め、話し合う場や時間の設定などを行う。</p>	B
<p><行動計画> ②相談や報告の習慣化を図り、対話・会話を重視した学校運営に努める。</p> <p><目標値> ・職員会議等の有効性に対する教職員評価80%以上 ・校内人事、分掌の公平性、意欲的環境に対する職員評価80%以上 ・会議の精選と短縮(終了時間設定、資料事前配布)</p>	<p><目標値に対する達成状況> ・職員会議等の有効性に対する教職員評価 87% ・校内人事、分掌の公平性、意欲的環境に対する職員評価 80% ・職場の人間関係に対する教職員評価 80% ・職員会議資料のペーパーレス化の実現</p> <p>スクールサポートスタッフを活用し、効率よく事務や活動、会議を行える準備ができた。業務内容を精選し、さらに活用を図りたい。</p>	<p>校務分掌からの企画立案等が個人の手任せられている面があったので、一部の分掌では複数担当制を取り入れてきた。管理職が企画段階から相談に入るだけでなく、打ち合わせなどで次の行事や活動を話題にするなど相談できる場づくりを意識してきた。今後はさらに組織的に相談できる体制づくりとして、相談役の設定や部会の一部導入など検討していきたい。</p>	B
<p><行動計画> ③総勤務時間の縮減に取組むとともに、休暇等の積極的な取得に努める。</p> <p><目標値> ・一人あたり月平均時間外労働24時間以下、年間360時間以下 ・月最大45時間以下 ・一人あたり年間休暇取得日数前年度比1日増 ・毎月4回定時退勤日実施 ・退校予定時刻ボードの活用 ・会議資料の事前配付による会議の効率化 ・職員会議・全体研修会以外の放課後の会議60分以内</p>	<p><目標値に対する達成状況> ・一人あたり月平均時間外労働 27.6時間(12月末現在)(前年度末23.5) ・一人あたり年間休暇取得日数 17.4日(12月末現在)(前年同時期17.8) ・定時退勤日 月2回設定+個人の定時退勤日2回以上</p> <p>一人あたり月平均時間外労働は、市内ワーストであり、ストレスチェックからも心理的な仕事の量的・質的負担、身体的な負担にストレスを感じており、疲労感、不安感、なんらかの身体症状も現れているなど、一人ひとりの負担の大きさがうかがえる。</p> <p>休暇取得日数は、昨年とほぼ横ばいではあるが、新型コロナに伴う特別休暇も含まれているので、より計画的なりフレッシュのための休暇取得ができるよう環境整備に努力したい。各月の定時退校日を設定し、衛生推進者を中心に声かけを行い、定時退校することに務めた。行事黒板上に定時退校の札をつけ、職員の意識を高めている。会議資料はデータ化し、事前に資料の確認が出来るようになったので、会議時間の短縮、会議の効率化、勤務時間の短縮に務めた。ほとんどの会議を設定時間内に行うことができた。</p>	<p>一人あたり月平均時間外労働は、昨年度より増加しており、市内小学校ではワーストである。さらなる改善活動の必要性がある。学級経営に苦心した学級が複数あったことも影響があると思われるが、学校体制として職場環境の改善に引き続き取り組んでいく。</p> <p>一人ひとりの意識の向上を図るとともに、教職員同士の声かけ、勤務時間の長い職員に合った校務の効率化を具体的に考える必要がある。</p> <p>退校予定時刻ボードの活性化を図り、実効性のあるものとしたい。校務支援システムが、導入されるので、掲示板を使い、打ち合わせの効率化を図る等、有効活用を図りたい。</p>	C